

会報

第 114 号

1997年1月1日発行

発行人 園口佳昭

京都マイコン研究会

新春のごあいさつ

95年はWINDOWS 95とペンティアム一色の年でした。DOS→、WIN、win95とマイコン環境は急速な変化を遂げています。我々マイコンクラスも会員相互の親睦と自己研鑽を積むことを目的とし、DTP、インターネット、LAN、ホームページ作りと部員の経験を生かした講座や、増田さんの多大な支援のもと部会の勉強会と多彩な取り組みがありました。お礼申し上げます。

ところが、年齢のため？、それともパソコンストレス？、人間の脳の容量には限界がないものの、思うような効果的なあがりません、みなさんのたゆみない刺激がないかぎり日々の急速な変化を吸収することは、パソコンの容量増加のように簡単に手に入れることは出来ません。

97年は予想される激変のマイコン環境が登場してきます。激変の中でも耐えられるマイコンクラスに変身させたいと思います。

今年はどうし年、うしは自然の中で育まれた草を長時間かけ消化し、大きな体を維持する体力を作っています。私たちのマイコンクラスは、優秀な開発者が作り出す新しいテーマを正面からとらえ、基本と基礎を正しくとらえ、それぞれの会員の個性と特技を生かしながら、続々出てくる概念を粘り強く消化したいと思います。

個人の成長にとって個人目標は大切な要素です。新しいものを追い求めるだけでなく自己達成のためにも目標を持ちマイコンクラスの仲間力を出し合いながら、効果的な講習会や勉強会を取り組みたいと思います。マイコンクラブは人の輪です。パソコンをものにしようと「金と時間と能力」を使い（消耗して）愚直苦悶せずに、少しでも楽しくマスター出来るよう、システム化されたマイコンクラブをめざして牛のように「のしのし」と励みたいと思います。

今年、うし年「あゆみは遅くとも確実に生活の中でマイコンを活用と消化を！」

園口

パーソナルコンピュータユーザ利用技術者認定試験が実施 されました。

日時：平成8年12月1日
会場：京都社会福祉会館

編集部 増田

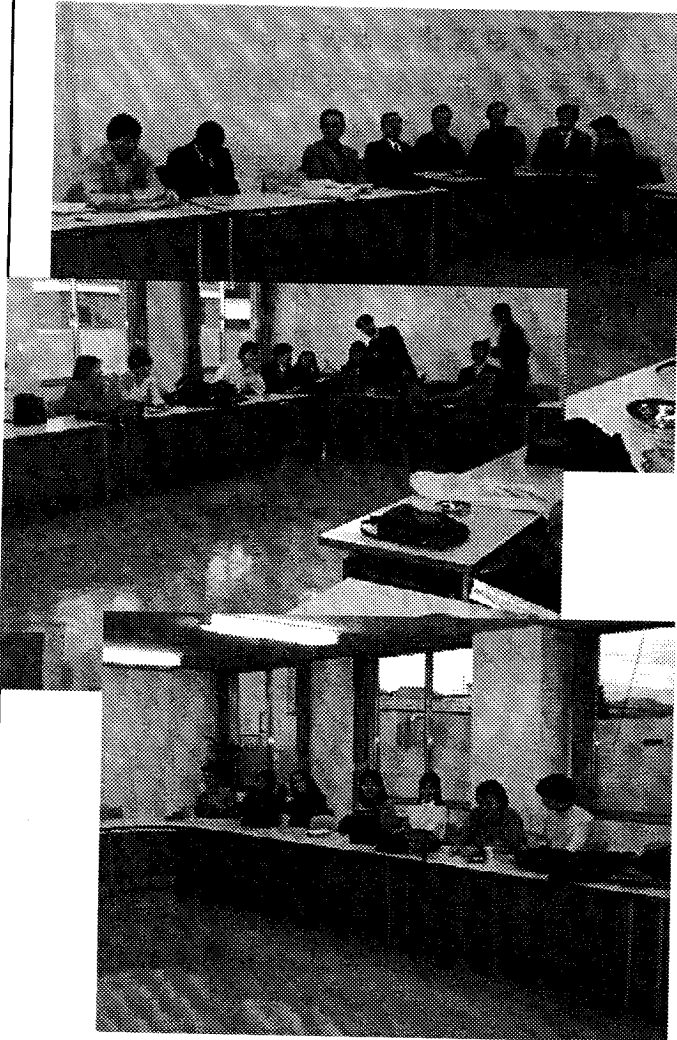
近畿東部（京都府，滋賀県，など近隣）地区の受験生の試験監督官としてお手伝いさせていただきました。試験会場の部屋の関係で今回は大変部屋数が多くなり，多くの人の手助けが必要でした。

この認定試験では毎回進んで手伝って戴ける会員の皆様方にはボランティア精神でがんばっていただきました。

これからの高齢化社会の中で，少しでも私たちに出来るボランティア活動には参加させていただき，ただのパソコンマニアでは無い私たちが在りたいですね。「自分だけがこの社会の恩恵に与ろう」とする心は自分自身に恥じるそれが一番つらいのです。

私たち幾ら新年をやり過ごそうとも，この精神は貫きたいですね。

試験が終わり一息ついたところ



例会報告

12月7日 (pm. 6:30) 大山崎ふるさとセンター
参加者氏名 岩井、若井、若林、圓口、鍵田
増田、吉川、中村、上田、溝口
10名

内 容

1) 新年度編集企画と合宿講習議題参加者氏名

新年会

日時
場所
内容

詳細は12ページに記載

新規入会者

野沢晴美さん 京都市南区唐橋門脇町29-1
ルネ西大路308号
TEL/FAX 075-671-1723

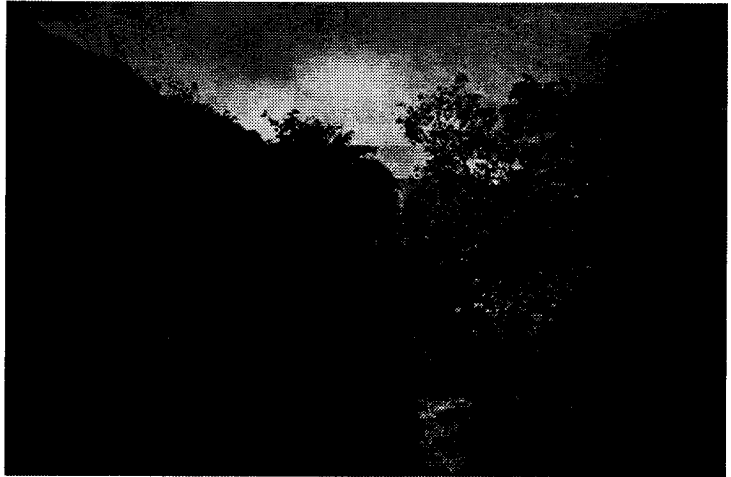
会員電子メールアドレス

1997-1 現在

- 河原友三郎
- 神賀重善
- 加藤純一
- 中西洋一
- 中西秀行
- 若井征夫
- 若林実
- 中辻実
- 増田則雄
- 武田計子
- 野沢晴美
- 圓口佳昭
- 溝口 知男

九月末、上高地より奥穂高へ行く道のりの途中・・・上高地より2時間少し歩くと横尾ー
横尾より1時間ほどの所に、赤色と黄色のすばらしい紅葉があったのでシャッターをきりました、
また涸沢で・・・涸沢小屋の付近の紅葉もシャッターをきりました。

撮影 吉川雅啓



- ★ カメラ ニコン801
- ★ レンズ 24～50ミリ ズーム
- ★ フィルム コダックEPP135
- ★ 絞 F11
- ★ シャッタースピード オート
- ★ カメラ ニコン801
- ★ レンズ 24～50ミリ ズーム
- ★ フィルム コダックEPP135
- ★ 絞 F11
- ★ シャッタースピード オート

ゆりかもめ 『京の冬』

かみがしげよし

風を集めて

ゆりかもめ

どつと舞い上がり

ゆらりとゆれる

乱れ飛ぶ白い雪つぶ

冬の目は遠く

ほくほくと湯気の中

にこにこと

だいこ炊きの母の手

北山・北風凍えぬ

コンコンと行く高野川

声となぞれば、ゆりかもめ

千年の哀しみが落ちてくる

ゆりかもめ ゆりかもめ

京に舞う

編集 部

増 田

この会報は編集部だけの物ではありません。

皆さんの日常や例会、合宿など。私たち、会員相互の理解と情報の伝達などを取りまとめ編集している定期刊行物です。

私一人が書きいた放題していますが、これはと言う逸品是非皆さんにお伝え下さい。

皆さんのお手元に届きました会報は約5～6年前にこのような姿で登場して、その時から「オン・デマンド・プリンティング」を前提に発行してきました。その間プリンターも四世代も変わっています。ソフトウェアも同じです。また、最近ではデザインに欠かせないフォントの種類や価格も手頃で豊富に供給されて来ました。ちなみに編集部では、私が個人的に所有している和文フォントが約100書体以上、欧文フォントは5、000以上ありますが、OSのシステムの関係で日常は20種類ほどくらいしか使用していません。

パソコンの情報は皆さんが雑誌やその他の情報で入手される事の方が多いのであまり掲載していませんが質問その他、シリーズで取り上げてほしい事柄もお寄せ下さい。また、新しい会員の方々が増え紙面上に参加していただける事を期待しています。

其の折りには誠に申し訳ありませんが、原稿の締め切り日は毎月の20日といたしております。時間的にもハードにも頼らなくては行けないので仕事の合間をかくぐって編集させていただいています。その中で、時々いや必ずプリントアウト送付した後、編集ミスが紙面に参加してきます。性格のせいでしょうかなせ、せっかちなのです困ったものですね「ごめん」としか言いようがありません。紙面作成の為の文章は埋められるのですが、編集時間やDTPソフトのバージョンアップによりまったく編集がままならない事がこの会報の時にも発生し日時を4日も費やすなど、まだまだヘルプの旗を降ろせません。だれか助けて下さい。まったく……………なのです。

最近 IBM から発売されたソフトウェアから

増 田

DB 2 Internet pack

ユーザーのデータに対する要望は千差万別ですがその中でも定型的な情報検索や簡単な条件検索は大きな割合を占めます。イントラネットはこの定型情報と簡単な条件検索に最適な機能です。

一方、最近では一般のエンドユーザーでもHTML準拠のWebブラウザでインターネットを使って自由自在に情報を入手することが容易になりました。また、インターネットからデータベースへのゲートウェイ機能によりHTML準拠のWebブラウザ、からデータベースへの簡単なアクセスが実現しています。これにより、ユーザはデータベースのことをいっさい意識せず、普通にインターネットを使う感覚で自分でも気づかないうちにデータベースにアクセスすることができます。また情報を外部のユーザに広く開放することもできますし、データの内容に応じて使用を社内限定することもできます。

データのアクセスは、単に情報の照会にとどまりません。例えば、アンケートの答えや社内電話帳の更新、お客様情報のインプットなど途中で万一通信回線が故障してももう一度やり直せばよいような情報へのアクセスも多くあります。このようなアクセスにはイントラネット/インターネット統合が最適であり、よりコストパフォーマンスの高いシステムが構築できます。IBMがご提供するデータベースDB 2とDB 2とインターネットのゲートウェイ製品であるDB 2 WWW Connectionを組み合わせれば、簡単にイントラネットを基盤にしたデータシステムが構築できます。この2つの製品は、IBM Software ServersのひとつIBM Database Serverに同梱されています。また、IBM Software ServersにはWebサーバ製品でとくにセキュリティー機能の豊富なIBM Internet Connection Secure Serverがあります。インターネットと社内のデータベースの統合をすすめていただくために、DB 2 Internet packをご用意いたしました。

VisualAge for Basic

VisualAge for Basicは、BASIC言語のアプリケーションの開発生産性を向上する強力なツールです。ビジュアルに部品を組み合わせるにより、オブジェクト指向型アプリケーションの開発を可能にします。

クロス・プラットフォーム上でのBASIC言語によるビジュアル・プログラミング環境

VisualAge for Basicクライアントは、OS/2、WindowsNT、Windows95に対応VisualAge for Basicサーバーは、OS/2、WindowsNT、AIXに対応ビジュアルGUIビルダーによる、ユーザー・インターフェースの設計言語対応エディターによるコーディングインタラクティブ・デバッガーによる対話形式のデバッグ多彩なコンポーネントをサポートする、オブジェクト指向型アプリケーション開発SOM、OpenDoc、OLE2、OCX、C/C++などのオブジェクト・システムをサポートデータベース・アクセスAIX、OS/2、WindowsNT上のDB 2*をサポートODBCを通して、DB 2以外のデータベースもサポートストアド・プロシージャとユーザー定義関数による、効率的な開発・実行・保守

IBM OS/2 Warp 4 日本語版の特長は以下の通りです。

さらに鍛え上げられた 32 ビット・オペレーティング・システム

- 実績のある 32 ビットのプリエンティブなマルチタスク・カーネルによる安定した稼働。
 - 最適化された HPFS (ハイパフォーマンス・ファイル・システム) による高速なファイル・アクセスと 254 文字までのロング・ファイル・ネーム・サポート。
 - マルチ・スレッド機能と改良されたメモリー管理およびファイルの非同期先読み機能によるシステム全体のスループットの向上。
 - 西暦 2000 年にも対応。使いやすく、洗練されたデスクトップ・ユーザビリティ
 - SOM/DSOM オブジェクト・モデルで構築されたオブジェクト指向のワークスペース・シェルによりシェルの自由な拡張・カスタマイズが可能。
 - 画面デザインが一新。ピジュアルがより 3D 化され、フォルダーにクローズ・ボタン、メニューバーが追加。設定ノートブックのスタイルも水平のカラー・タブでより使いやすく。
 - 新しいアプリケーション・ランチャーの WarpCenter は、ドラッグ&ドロップでのアイコンを登録と階層化メニューでのフォルダー・アクセスを実現。システムのステータス表示機能も提供。
 - ヘルプ表示のエージェントである WarpGuide がユーザーのレベルに合わせその場に応じたガイダンスを提供しシステムの設定をアシスト。
 - 新しい 32 ビットかな漢字変換機能 (IM32) のサポートおよび Writing Heads/IM32 の標準搭載。
 - ワン・クリックで簡単アクセス、インターネット・サポート
 - インターネット・デスクトップ機能により、Web サイトや FTP サイトのアドレスをデスクトップ・オブジェクトとして登録可能。
 - Web ブラウザー、FTP、NewsReader、メイラー、Gopher 等を標準装備。
 - Netscape Navigator for OS/2 Warp が利用可能になり次第、インターネットからダウンロードするだけで無償で使用可能。(1 月 27 日現在、英語版ペータがダウンロード可能)
 - IBM インターネット接続サービスへ面倒な設定なしでオンライン・サインアップが可能。
 - Web サーバーと Proxy サーバー機能を提供する Internet Connection Server for OS/2 Warp v 4.1 を添付。ビジネスを刷新するイントラネット・サポート
 - グループウェアの標準 Lotus Notesmail を添付。
 - DHC P だけではなく DDNS もサポートするダイナミック IP クライアント。
 - Socks Security, IP 別名サポート, FTP/TFTP クライアントとサーバ、Telnet クライアントとサーバ, REXEC および RESH クライアントとサーバなど充実した TCP/IP サービスを提供。
 - パーソナル・コミュニケーションズ/3270+5250 TCP/IP エントリー版を搭載。
 - イントラネットを実現する OS/2 Warp Server および IBM Software Server のクライアントとして最適。
- 多彩なコネクティビティ、ネットワーク・サービス
- ファイル&プリント・サービス・クライアントによる OS/2 Warp Server, OS/2 Warp Connect をはじめ、Microsoft Windows NT, Windows 95, Artisoft LANtastic へのアクセス。
 - Novell NetWare Ontent for OS/2 による NetWare サーバーへのアクセスおよび NDS のサポート。
 - モバイル環境をサポートするリモート・アクセス・クライアント。
 - サーバーとの再接続時にファイルの同期をとるモバイル・オフィス・サービス。遠隔地からもスピーディーにシステム管理
 - TME 10 NetFinity サービスによるサーバーからの管理機能および様々なリソースやパフォーマンスのモニタリングおよびレポート機能。Management Interface (DMI) エージェント遠隔地からもスピーディーにシステム管理
 - Desktop Management Interface (DMI) エージェントと SNMP のサポート。
 - FFST、ダンプ、トレース、ログなどの充実した問題判別機能。OS/2 も Windows, Java もアプリケーション・サポート
 - DOS、Windows * * 3. 1、OS/2 アプリケーションの実行のサポート。
 - Java アプリケーションのデスクトップ上での実行機能。ジャスト・インタイトム・コンパイラーによる Java アプリケーションの高速実行。
 - マルチメディアの各プレーヤーの改良および JPEG 等のイメージ・ビューワーの搭載。
 - TrueType (Truetype Collection フォントを含む) および Adobe Type Manager フォントのサポート。
 - システム・フォントの改良および英文フォント指定の際の日本語テキスト表示機能。
 - 70 種類以上の OS/2 アプリケーションのデモ/体験版を集めた Appncation Sampler CD。快適に、効率よく業界標準プログラミング・サポート
 - Java サポートには、コンパイラー等のプログラミング・ツール (JDK) が含まれます。
 - 3D グラフィックスの業界 API である OpenGL をサポート。
 - クロスプラットフォームのコンポーネント技術である OpenDoc * * の実行環境を装備。
 - 32 ビット Windows アプリケーションの移植を容易にする WIN32 API のサブセットの Open32 をサポート。
 - OMG CORBA 準拠のオブジェクト技術、SOM/DSOM によるクロス・プラットフォームのオブジェクト間通信プログラミング。
 - Object REXX の標準装備によりワークスペース・シェル等の SOM オブジェクトおよび OpenDoc パーツのスクリプティングが可能。
- 約 2,100 種のデバイスを網羅、ハードウェア・サポート
- ISA デバイスに加え Plug-&Play (PnP) デバイスに対しても自動認識し対応するドライバーをインストール。
 - 新しいグラフィックス・デバイス・ドライバー・モデル (GRADD) の追加。
 - PCMCIA の Plug-&Play, Advanced Power Management (APM1. 1) 赤外線 (IRDA) その他最新デバイスのサポート。
 - Device DriverPak CD の添付。OS/2 デバイス・ドライバーを満載。最新のデバイス・ドライバーを入手するための OS/2 関連 WWW/FTP サイトへのリンクを網羅。
- 便利なユーティリティ満載、プロダクティビティ・ツール
- J-Pocket 2 (Rel. 2) CD は、使える、便利なツール群が盛り沢山。Hyper Image for OS/2、PC 教育シリーズ fo OS/2 などを追加。
 - 日本語音声読み上げソフトウェア P r o T A L K E R * / 2 V 1 を添付。
- OS/2 Warp V 4 オペレーティング・システム OS/2 Warp V 4 本体および Bonus Pak
- Devioe Driver pak CD OS/2 のデバイス・ドライバー満載の CD
- Lotus Notes Man クライアント/サーバー型電子メール
- Appncation Sampler CD
- 70 種以上の OS/2 アプリのデモ/機能限定版 CD
- J - P o c k e t 2 (R e l . 2)
- 使える便利なツール集
- ・従来の OS/2 Warp V 3 は、ネットワーク機能付 (Connect) とそうでないもの、Windows 3.1 アプリケーション・サポート機能 (WIN-OS/2) が含まれているもの (with WIN-OS/2) と含まれていないもの 4 種類がありましたが、OS/2 Warp 4 はネットワーク機能標準装備かつ WIN-OS/2 機能付の 1 種類のみになります。1
 - OS/2 Warp 4 日本語版は、CD-ROM 版のみとなります。ディスクソフト版はありません。
 - ・OS/2 Warp 4 英語版には、音声認識機能 (VoiceType* for OS/2 Warp) がありますが、日本語版には、音声認識機能 1 含まれておりません。将来提供される予定です。

(上記は IBM バージョンアップ資料をそのままコピー入力したものです。機会があれば使用感など掲載したいと思います。増田)

DTP

ディストップパブリッシング

提言者この世界から立ち去るは、未来を予見たからでは？

世にディストップパブリッシングと言われて約10数年、今は無いALDUS社の会長が打ち上げた時代を見据えたまさにコンピューター時代にふさわしい言葉（ネーミング）であったと思われます。

机の上にパソコン1台あれば、個人もちろん事務用フォームから営業フォームまで見たまま思いのままを編集するという意味であったのが、現代では企業やネットワーク管理までのマルチメディアを一個人が管理できる大きな意味でのDTPを考えられる時代になりました。「今パソコンをイメージすれば世界が見える。」如何に、この世界観を整理編集しプレゼンテーション出来るか。1歩も2歩もさがり皆さんがしていること、自分がしていることは何なのかを追求したいと思います。

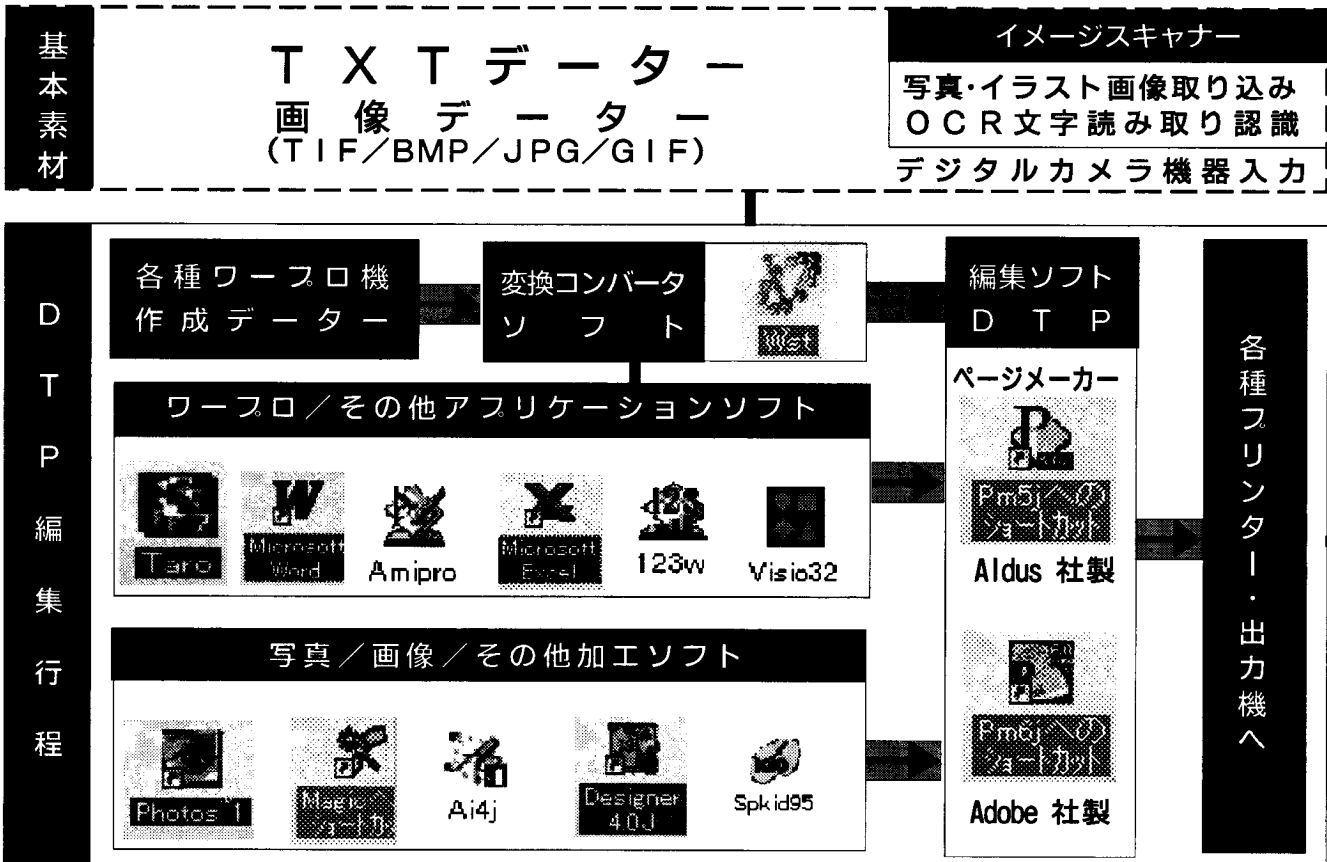
この言葉の始まりであった。見たまま思いのままはいったい何なのか？

文書やフォームなどの「オブジェクト」を作成するには「文字」「画像」その他データつまり部品が必要ですが、この部品「素材」後々にも大切に保管しておかなければならない意味をこれからDTPのソフトやワープロソフトを操作する人のために記述することにする。

一般には、ワードプロセッサやワードプロセッサアプリケーションソフトなどですが、編集スピードや繊細な編集能力と自由自在の操作性を兼ね備えている編集のプロが利用するDTPソフトこれら両者は、ただ1枚のペーパーに形式やデザイン重視のためにだけ利用していると考えて下さい。

これらのアプリケーションソフトで作成したファイルは、データとは言えない事が最近特感じられます。

下記にその流れと再利用のための保存をイメージで表示いたします。



特に営利主義一本槍の某ソフト会社は市場独占のおごりもあり基本ソフトであるOSまでも毎年変えていくという無謀な企業ありさまだ。そのことはパソコンの基本OSが成熟しておらず、いずれどうなるかまだ未知の証拠でもある。

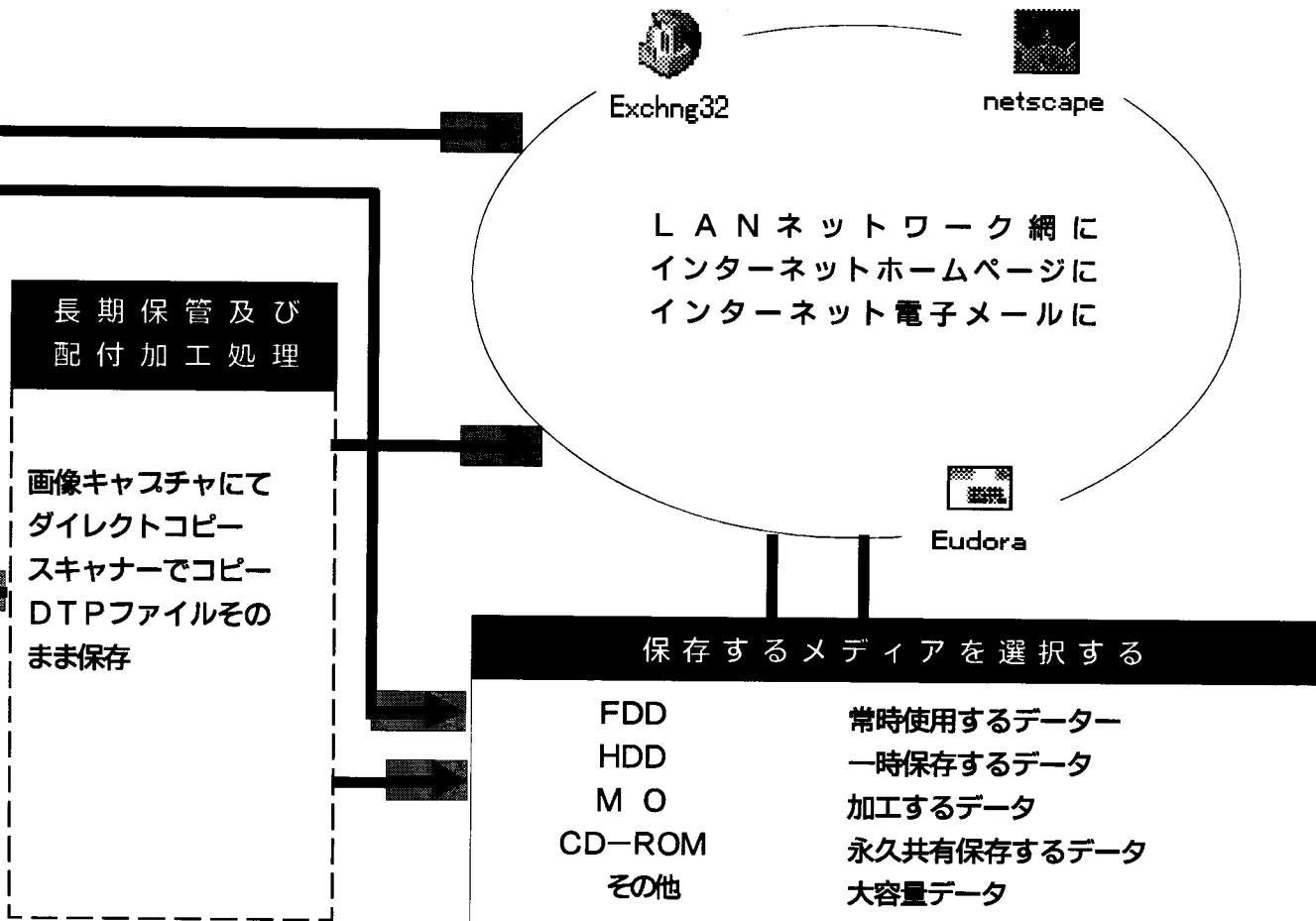
以上の観点から考えれば、一企業が作っているアプリケーションソフトで作成されたファイルデータなどゴミに等しく感じられる。近未来においてそのようなファイルデータを利用しようとするのならイメージデータとして保存するのが正解かも？なでならば、未来ではまずOSが変貌しているだろうし、また現在のソフトハウスが社会的敬遠されるとか消滅など、かなりの変化があるはずなのです。

もし存続していたとしても、毎年のバージョンアップで旧バージョンも二世も過ぎれば変換出来ない環境でもあります。また内蔵されている部品、特にフォントやプリンターなどの変化により作成したときのアプリケーションがまったく違うイメージになるのです。これでは忠実に再現しようにも出来ないではありませんか。

また、ペーパーレス時代が直ぐそこにやってきました。今は逆行していますがもう少し皆さんがマルチメディアやネットワークでのデータ処理になれば実現するでしょう。その環境でのDTPは変化しつつあります。

インターネットでのホームページレイアウトのように、ではいったい今のDTPやワープロソフトで作成したデータは何なのかと問われれば、私には「今をパフォーマンスするための道具であり、其の道具は常に時代とともに変化するのである。」としか答えられない。自分がOSやソフトの開発をして世界中に供給しているのならばいざ知らずとも、とにかく「今は今、未来は未来」なのである。(ちなみに一歩も二歩も先を読んだ

Aldasu社会長が Adode社にDTP創始ソフト、ページメーカーを身売りしこの世界から立ち去ったのは未来を予見たからではないでしょうか?)



インターネット・ホームページ作成思考

インターネットホームページ作成について

増田

ホームページを開設する難しさはなんと言っても、何をどの様に誰に向かってどの様な手順で発信し管理するのかということが開設者の頭の中で整理でき、几帳面な性格でなければ開設するべきではないと思います。

初物食いの面白さで内容も計画もなく開設すれば先はゴミになることが確実です。日々知識や情報などが泉のごとく湧き出て、それらを人々に知らせたい、知って戴きたいという気持ちを抱き続けている人でなければ軽い気持ちでは後で自分自身に恥をかく結果になるのではと思います。

さて前置きはそれぐらいにしてと。

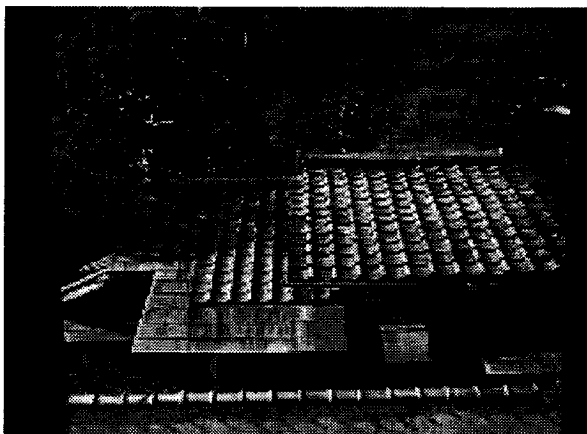
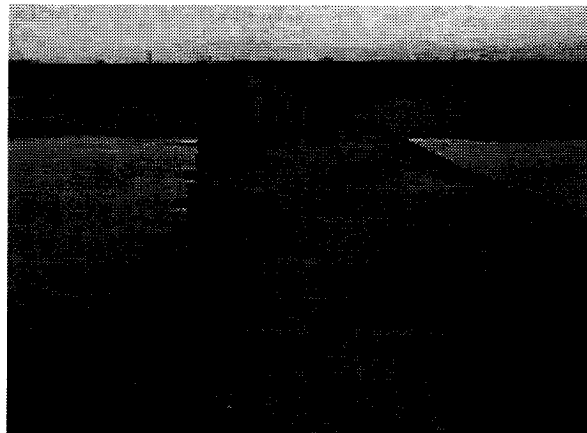
皆さんが、内容に悩まれているのは前置きの如くと思います。が、しかし考えてみてください。十や二十歳の者でもなし日々を何年過ごしてきたのでしょうか。その年月は自分自身ではなかったのですかと問いたいのですが？

私の場合は山ほどあり手を付けたらこれに一生を捧げなければならないという困ったものです。

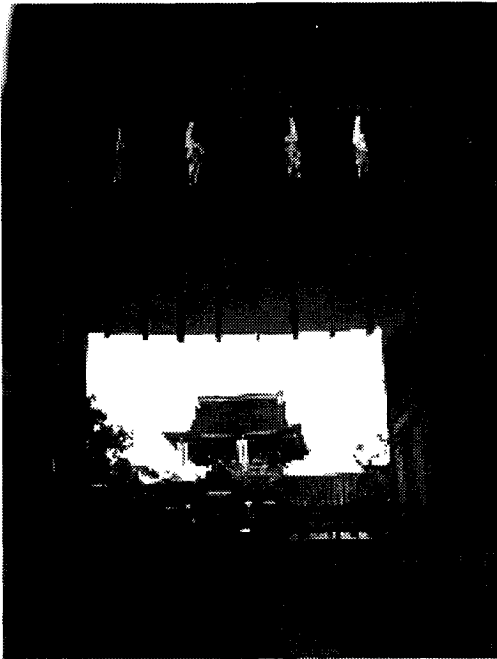
私の生まれ育ったこの地は、今も昔も東西の要で数多くの歴史や文化が生まれた所です。桂川、淀川、木津川と三河合流地点でもあり。桂川は、亀岡の山地から嵐山、桂離宮の横を通りこの地へ、真ん中を通る宇治川は先は鈴鹿三景の山系のあの知る人ぞ知る伊吹の弥三郎（またの機会に説明）、が住んでいた伊吹山から日本一大きい琵琶湖を縦断してお茶の産地宇治田原の溪谷を通り宇治の平等院の横を流れて淀を経て来る。最後の木津川は伊賀上野から笠置、木津、学研都市を横目に田辺を経て来るのです。川の向こうは明智光秀と羽柴秀吉の合戦で有名な大山崎で、こちらの山からの間隔は1キロ前後で目の前、この間にJR、新幹線、名神高速道路、国道1号線と東西への交通の要所なのです。古くは縄文時代から飛鳥の時代、奈良の都への船での交通の要所でもありました。徒然草や枕草子などにも登場するこの地、南北朝時代正平の役では京の都の朝廷と後村上天皇とが合戦をした時に奈良から木津川を船で下りこの船の交通の要に陣地を構え朝廷と合戦をしたのである。しかし、朝廷に破れ天皇は船で木津川を上り笠置へ逃げ落ちたのです。その際合戦場であったこの町は朝廷の兵に焼き払われたのです。私の家の前には城之内合戦場跡という道標が建てられていました。また焼き討ちにあった証拠に今でも裏庭を掘れば焼けた瓦が沢山出て来ます。今、道標のお話が出てきましたが、この道標市内に400基も一人で建立した人がいます。現存するのは約150基ほどです。この町から発した言葉や、発明品、などは皆さんが日常何気なし口にしてしている言葉や物もあります。まず、「八幡巻き」これは今もそうですが、この三つの川の川岸の岩場の穴にウナギが

山

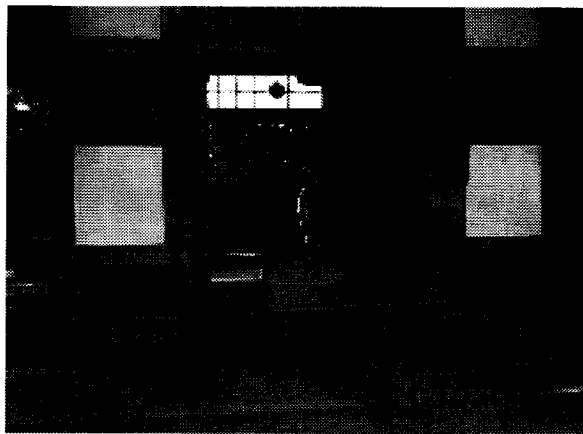
いるのです。そのウナギを利用して岩田や上津屋地区でとれた牛蒡を真に巻いて作られたのがたのがこれです。岩田地区の「岩田大根」が農作物では知られています。岩田地区は「岩田帯」の伝説もあります。日本最大の石で出来た五輪塔は多くの伝説を残す。大阪の陣後大阪の経済を動かした有名な淀屋辰五郎が宝永二年突然所払を命ぜられ移り住んだのがこの淀屋辰五郎邸です。もっと有名なのが「松花堂弁当」なのです。これは、寛永の三筆「近衛忠山信尋公・松花堂昭乗・本阿弥光悦」の一人、松花堂昭乗が茶の湯の友に出した弁当が始まりです。その人物と私とは小さい頃から隣にいたのです？実は私の家の裏が松花堂昭乗の菩提寺なのでお墓が横にあるのです。また昭乗の友人には沢庵、江月両和尚、小堀遠州公、石川丈山、長閑堂、佐川



インターネット・ホームページ作成思考



田喜六昌俊、木下長嘯子他数などがいて多くの文人墨客をもてなした茶室も横にあるのです。岩清水八幡宮は、明治維新の神仏分離令までは神仏習合の宮寺で、他には見られないお寺と神社が共存している八幡宮の社坊としてありました。岩の中からこんこんと湧き出る泉が多くあったため石清水八幡宮と名付けられ、宇佐八幡宮から男山に総本山を創建されました。境内には次から次へと文人や大開梨や開梨が次々この男山に坊を構えたのであるそのため男山は文人や参詣者など大変にぎわいであったことを男山見聞録やその他書物で伝えられている。その人たちによって南山焼きという焼き物や、竹筆などが伝え



られている。最盛期には48の坊が存在していました。江戸末期でもまだ23の坊があったということです。岩清水五泉井や男山三不動、男山八景などは奈良街道、高野街道、宇治街道、京街道、伊勢街道、など多くの街道が集まっています。これらは人が遠くから八幡山まわりにはせ参じることによって作られた遺物ではないでしょうか。？松花堂昭乗の遺品の宝物庫や静かな松花堂昭乗庭園は毎日毎朝私の目とまります。このお寺では、毎月1日に数キロ離れた日本最古の木造達磨太子像がある洞ヶ峠近くのお寺円福寺より市内を托鉢しながら数十人の修行僧がこのお寺にやってきて本堂で読経を唱える姿もよく見えます。その向こうは石清水八幡宮がある男山が目の前に立ちはだかっています。

男山エジソン記念碑はあの発明王エジソンが八幡の竹でフィラメント作り電球の発明をしたのです。女郎花塚、源頼朝手植えの松、湯沢山茶久蓮寺、浄瑠璃姫墓、和気清麻呂、豊蔵坊信海、片葉の芦、徳川家康の側室となり尾張徳川家祖義直を生んだ亀女の生寺、古今和歌集の布留今道の「をみなへしうしとみつつぞ行きすぐるを」とこ山にしたてりと思へば」の中の女郎花塚、血原池は後村上と足利両軍の戦いで池が血に染まった、王塚古墳、美濃山横穴古墳、筒井順慶が秀吉・光秀の天王山の合戦で日和見をした洞ヶ峠を決め込むの洞ヶ峠、岩田の渡しと橋本の渡し、萩坊は狩野山樂が大阪城落城の際に逃れ住んでいた、吉井勇が男山山内で放浪の生活をした、もう紙面が無くなりますので又の機会にいたします。このように私の周りには私一人の人生では伝えきれない歴史文化が埋蔵されています。これらを知るのは市史やその他歴史書をかき集めなければ知り得ません。伝えたい心これがホームページ作りのエネルギーです。



w i n 9 5 の発売に徹夜の行列ができ、パソコンが急激に各家庭に普及した。そしてインターネットの w w w がブームになり早くも一年が過ぎ去った。

私も時代に乗り遅れないようにテレホーダイでネットサーフィンを試みたが23時からはずなれない盛況ぶりである。

今では波乗りもあまりせずオンライン囲碁ばかりしている。(碁会所へ行くよりずっと安く煙草臭くも無い)

昨秋、インターネット部長というポジションを喜んで！！引き受けたが、果たせるかな旧年内にホームページ作成を目指したが道は遠すぎた。何も手を付けないうちに年が明けた。

まずコンテンツを何にするかで行き詰まる。趣味の多い人、スキルの高い人はそんなに困らないだろうが、反対の私などは人に教えて貰ってばかりで発信する内容に悩んでしまう。

何事も始める「動機は不純から」人に自慢するために h p を作ろう。とにかく肩肘張らず何でもよいから h p を作ろう。新春の合宿で素材だけでも持ちよりましよう。

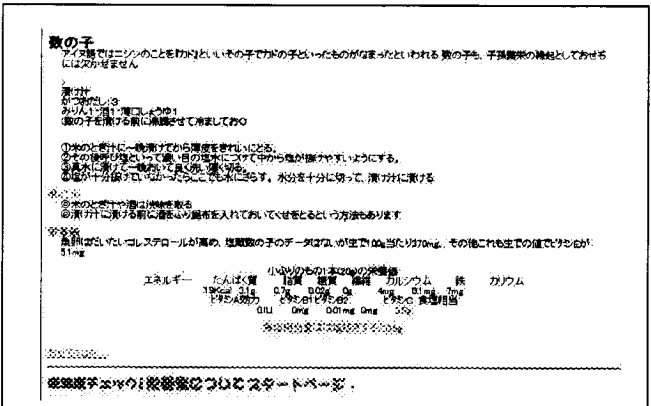
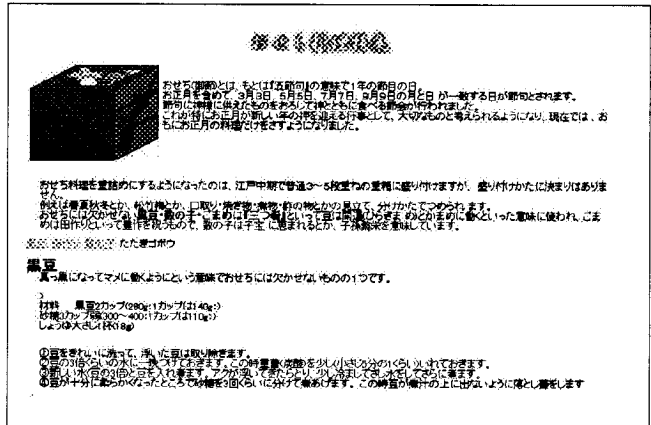
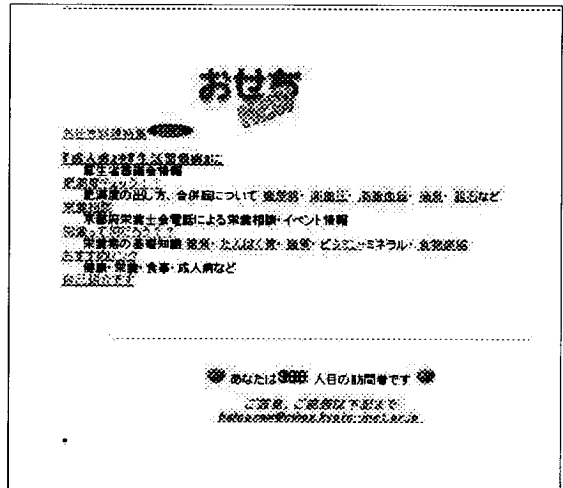
幸い新会員になられた野沢さんという強力な助っ人がおられるので百人力だ。ご存じの通り彼女は皆のための健康 h p を開設されている。

<新年にあたり今年度の目標>

- 今年度(3月)迄に各自 h p を開設する。
- 規約を改正して会員は全てインターネットに加入する。
- 例会は全てバーチャル会議とし C u - S e e M e (音 声 や 映像) を駆使する。

..... ああああ初夢でよかった。

若 井 征 夫 wakai@inbox.kyoto-inet.or.jp



の ざわ はる み
野 沢 晴 美

私とパソコン

兄の影響か？子供の頃から機械が好きでプラモデルなんかを作ってリモコンで動く戦車などを走らせて遊んでいた私が、パソコンに興味をもつのは当然の成り行きだったのでしょうか。

もう15年も前になるのでしょうか？NECのPC-6001（俗に言うパピコン）をのこまーシャルに魅せられて買ったのが始まりでした。漢字も出ないし何をしてたのやらあまり覚えていないのですが、BASICで本に載っているプログラムを必死で打ち込んで、簡単なゲームを動かして遊んだり、本当に簡単なプログラムを走らせて遊ぶだけのものでした。記憶媒体はカセットテープレコーダーでプログラムの録音？（記録）再生？（読み込み）におそろしく時間がかかったのを覚えています。

その頃にもっと深くコンピューター言語でも覚えていたらよかったです、その後買い替えたPC-801で漢字が出るようになり、ワープロソフトが出てきてそこで私のパソコンは完全にワードプロセッサと化してしまいました。

時は流れ・・・平成5年

WINDOWS3.1とそれが動くマシンを買ったのが私のパソコン歴の本当の始まりです・・・NECにはたくさん寄付（PC6001～98まで3台プラスEPSON1台）したのでDOS-Vに乗り換え今に至るという感じです。

新しいマシンを買ったら古いマシンは潰れてもいいという意識が出るのかそれから古い98互換機をいじくりDOSのコマンドを覚えたという次第です。

現在使用のアプリケーションは、得意分野と言うほどでもないのですが、仕事柄lotus-123を良く使うので、マクロで出納簿の計算を自動化させたりしています。

データベースは興味深々なんです、現在はDOS版ザ・カードだけです。仕事関連は必要に迫られるのがザ・カードは超簡単なので病院の患者管理はこれでしています。

行く行くは、自分の得意分野である『料理のお献立データベース』を作ろうと思っているのですが、ホームページを開いてしまったので、今のところはそちらに追われています。

圓口さんのアクセス95講座はぜひとも参加したいと思っています・・・

未来は・・・栄養士ネットワーク、栄養士がもっと広く世の中にアピールしていかなければと思っています。

趣味は映画とこれからDTM（デスクトップミュージック）に取り組みたいと思っています。

野沢 晴美 e-mail : halnozaw@mbx.kyoto-inet.or.jp

homepage : http://web.kyoto-inet.or.jp/people/halnozaw/

1997年

新春合宿新年会

日時 **1997**年 1月 18日(土)、19日(日)

会場 滋賀県滋賀郡滋賀町大字八百戸字久川原字大將軍

(株) 関西テレビ放送 「**蓬莱山の家**」

TEL (07759) 2 - 0 2 9 8

会費 10,000円

集合 京都駅八条口 京阪ホテル1階 ピエモンテ

日程 お申し込みは 事務局 / 岩井氏 / 会長まで
期日は1月9日まで

1月 18日 (土)

- 10時30分 集合
- 11時 出発
- 12時 坂本 鶴木蕎麦

昼食

- 14時 蓬莱山の家 (関西テレビ保養所)
JR湖西線 蓬莱駅下車 徒歩 10分
パソコン設営
講習 97年を展望する傾向と対策
- 14時30分
97年を展望する傾向と対策
ハード、OS、アプリケーション (岩井)
- 15時
講習 Access 部会
Access 95 データベース (圓口)

18時30分 新年会
夕食

- 20時30分
講習インターネット部会
10個で作る (HTML)、ホームページ (若井)
みなさんで作しましょう。
実践 LAN とケーブルで接続 Plug&Play 深夜 (増田)

19日 (日)

- 8時 朝食
- 9時 1997年度編集会議
- 9時30分 新春 座談会
- 10時30分 マイコン撤去
- 12時 昼食
- 14時 解散